

都留第二中学校だより

# 日新

校訓 日新  
学校教育目標  
・美しい心  
・輝く知性  
・たくましい体

都留第二中学校学校だより  
NO18

平成30年1月16日(火)  
文責 小俣 一夫

## 何事にも「挑戦」の年にしよう！

新年明けまして おめでとうございます。保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、すがすがしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。16日間の冬休みが終わり、いよいよ3学期が始まりました。生徒の皆さんは新年を迎え、決意を新たにされたことと思います。

今年は戌年（いぬ）です。犬は社会性があり、忠実な動物です。人との付き合いも古く、親しみ深い動物です。また、犬はお産が軽いとされることから、安産については「戌の日」が吉日とされています。戌の干支の特徴として、“勤勉で努力家”なのだそうです。

さらに、申年、酉年、そして今年は戌年と鬼退治に向けて仲間が揃います。来年は亥年で突き進む為の準備期間とも言えるでしょう。戌年には勤勉な努力家という意味もありますので、知識を蓄えるにも最適です。

犬猿の中を酉もって暮れた昨年の酉年に感謝し戌年を乗り越えましょう。

こんな意味も含めて、生徒のみなさんには、未来に向かって、たくましく成長し、いろんなことに進んで挑戦して欲しいと考え、始業式に「挑戦の年」にしていきましょうという話をしました。自らの夢の実現に向けて、「やってみます。」「私はこう思います。」「調べてみました。」と、日々の取り組みに対して「前向きに挑戦する生徒」であってほしいと思います。

「冬は力を蓄える季節です。」冬の間に、次の戦いに向けてどう準備し、どれだけ充実した時を過ごすかが重要なのです。必ず来る「春」を確信し、今どのように考えて、何を実行するかということ、季節は間違いなく日々動いており「花咲く春」が必ず訪れます。しかし、そのときに大きな花、きれいな花、珍しい花等々、どんな花を咲かすかは、冬のあなたの頑張り次第です。あなたの今を変えられるのはあなただけです。

特に、3年生にとっては、進路決定まで残された時間は後わずかです。目標の実現に向けて、この冬を一生懸命に努力してみましょ。それがあなた方の今やるべきことなのです。

**努力して結果が出ると、自信になります。**  
**努力せず結果が出ると、おごりになります。**  
**努力せず結果も出ないと、後悔が残ります。**  
**しかし、努力して結果が出ないとしても、**  
**つぎにつながる素晴らしい経験が残ります。**



平成30年も都留二中教職員は力を合わせ、教育活動を充実・発展させられるよう努力してまいります。保護者の皆様、地域の皆様には昨年同様、本校に対しまして温かなご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。今年も宜しくお願いいたします。

## 「鈴木皓士選手（2年）」日本バレーボール協会長身選手発掘育成選手に内定

日本バレーボール協会と日本中学校体育連盟バレーボール競技部は、「長身長発掘育成事業」として全国から50名の選手を集めて、中学生の選抜チーム編成を計画しています。本校の2年生「鈴木 皓士」さんが、その選抜チームの一員に推薦され、2月から練習会に参加することになりました。

まず、第一段階として、県で3名が選出され、関東の選抜合宿が行われました。さらに、そこでの選考を受け、今回の全国選抜の一員となりました。

この選抜チームの最終目標は、日本代表チームやジュニアオリンピック選手の育成にあります。都留二中バレーボール部の代表として参加しています。一生懸命に練習を重ね、大会に出場して実力を発揮してほしいと思います。そして、来年度の都留二中男子バレー部のために、高い技術と信頼されるリーダーシップを兼ね備えた選手に成長して帰ってきてくれることを期待しています。



**フレーフレー 皓士！ ガンバレ ガンバレ こ〜し！**

## 3年生の全国学力学習状況調査結果は？

文部科学省が3年生を対象に「国語」「数学」の2教科について4月18日（火）に行った「平成29年度全国学力学習状況調査」の結果が8月の終わりに文科省のHPや新聞等に公表されました。このテスト結果の詳細の公表につきましては、賛否両論があり、都留市教育委員会としては学校の得点・順位を示して公表することはしないとしています。本校におきましては大まかな状況を保護者の皆様にお伝えし、今後、学校として生徒の現状をしっかりと分析する中で、指導方法や課題の改善に取り組んでいきたいと考えております。

生徒個々の正答率等につきましては9月、本人に配布しました個人票のとおりです。



美術科 授業の様子(2年の愛加さんと美味さん)

### 1. 教科に関する調査結果（一部を抜粋しました。）

本校生徒の〈国語〉の平均正答率は、知識問題で78%、活用問題で71%と山梨県や全国と同水準という結果でした。また、〈数学〉では、平均正答率が知識問題で65%、活用問題で48%と山梨県や全国と比較して数ポイント勝っている、もしくは同水準という結果が出ています。そこで、本校としましては、この結果に満足することなく、生徒一人一人の、「基礎的・基本的な知識や技能の習得」、「知識や技能を活用しての課題解決に向けた思考力・判断力・表現力の育成」、「家庭での学習も含めた学習意欲の向上」を目標に掲げ、本校の特色を生かしながら、課題を基に、個に応じた学習に取り組んでいます。

#### 良好なもの

- 文章の要約し内容をつかむ。
- 詩などを読んで、自分の感想や意見を持つ。
- 文章に書かれている内容を友だちの意見も聞いて自分の考えを更に広げ、深めること。
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。
- 与えられた表やグラフを用いて、立式して指定された数を求めること。
- 二つの三角形の大きさが等しいこと等を、筋道を立てて証明すること。
- 比例のグラフからXの値に対応するYの値を求めること。

#### 不十分なもの

- 文章の要旨を捉える。
- 物語などを読み、内容を理解する
- 相手に分かりやすいように語句を選択して適切に話す。
- 扇形の弧の長さを求める。
- 関数の意味についての理解

### 2. 学習習慣や学習環境等に関する調査結果（一部を抜粋しました。）

#### 良好なもの

- 友だちや教師との人間関係も良く、生徒にとって学校や学級が楽しい場所となっている。
- 規則正しい生活習慣ができています。

#### 不十分なもの

- 自己肯定感が低く、自分の言動に自信が持てない。
- スマホやゲーム、メールをする時間が全国平均に比べると1.5倍ほど長い。
- 社会的ニュースなどの社会事象への関心が低く、新聞を読まない生徒が多い。
- 図書室を利用しよく読書をしている生徒もいるが、全体的には読書量が少ない。
- 家庭学習（予習や復習）への取り組み状況は低い。



青少年健全育成作文 市長賞の小口くん

## 全国学力学習状況調査とは？

平成19年度より日本全国の小中学校の最高学年（小は6年・中は3年）を対象に行われている調査です。一般的には「全国学力テスト」と呼ばれており、その目的を文部科学省は次のように説明しています。

- 目的
- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
  - このような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
  - 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等を図る。

つまり、国は行った教育が十分な効果を上げることができたか、効果が上げられなかったとしたら、何が問題で、どのように改善していけばよいのか・・・等を考えなければなりません。そこで、絶えず成果を検証し、次に生かす手立てを考え実践していく材料として、この調査があります。

## 今年度の結果から 正答率の高い傾向が見られる子どもの生活や学習習慣は？

- 自己肯定感の高い生徒  
(これまでの経験から、様々な取り組みに対して自信の持てる生徒)
- 規則正しい生活をしている生徒(朝食 起床就寝時刻など)
- 友だちや先生の話や意見を最後まで聞き、自分の意見が持てる生徒
- 家庭の中に、スマホやゲーム使用のルールがある生徒
- 友だちと協力して何かをやり遂げた経験のある生徒
- 将来の夢や目標を持っている生徒
- 毎日新聞を読んでいる生徒

## 見える学力と見えない学力

学力には「見える学力」と「見えない学力」があると言われています。氷山は大部分が海面下に沈んでいて、8分の1だけが海面上に姿を見せています。子どもの学力もそれに似ていて、テストやあゆみで示される成績は、いわば「見える学力」です。その見える学力の土台には、「見えない学力」というものがあります。見える学力を伸ばすには、それを支えている見えない学力を太らせなければなりません。貧弱な土壌では野菜や果実もちっぼけなものしかできません。

現在、学校では「生きる力」の育成に向け、自ら課題を見つけ、進んで解決方法を探し、友だちと話し合い、協力して問題解決にあたるという、子どもたちが主体的に学習に取り組む学習方法を取り入れ、一人一人の思考力、判断力、表現力を育てていこうという「言語活動」を中核に据えた取り組みを進めています。また、その過程に於いて、習得・活用・探究という学習の中で、問題発見・解決を含めた深い学びの過程、いわゆる「主体的・対話的で深い学び(いわゆるアクティブ・ラーニングと言われてきたもの)」を取り入れています。そして、それは教える場面と子どもたちに思考・判断・表現させる場面を効果的に関連づけながら指導していくというものです。その理由は、教師と子ども、子ども同士が対話し、それによって思考を広げ深めていくことが有効であるからです。

## これからの社会において、子どもたちがたくましく生きていくために習得すべき資質や能力は？

- ①何を知っているか、そして、何ができるか？(個別の知識・技能)
  - ②知っていること・できることをどう使うか？(思考力・判断力・表現力等)
  - ③どのように社会や世界と関わり、よりよい人生を送るか？(学びに向かう力、人間性等)
- (平成32年度から実施となる新学習指導要領の求める資質や能力)

見えない学力の核心は言語能力です。つまり、言語能力は学力の母体です。子どもの言語能力の発達は、幼児期の飛躍的な伸びに比べて、小中学校では外見上は、そんなに目立った変化はありません。ところが言語能力は一日も休むことなく、とどまることなく発達しています。そんな、子どもたちの見えない学力は、「読書」を通じてめざましく伸びていくと言われています。

本には、親や教師から深く聞けなかったことや、日常の中では教えてもらえない知識がたくさん詰まっています。親の考えとは、その発想も論理もまったく異質の知見も書かれています。教師の語ってくれない、さまざまな歴史や世界のあることも知ることができます。自然の秘密や、すぐれた人物の生い立ちもわかります。そして、より知的な探究に向けて意欲をかりたてられます。読むほどにいろんな文章に接し、新しい言葉もどんどん覚えていきます。また、本好きな子どもは、頭の中にイメージをえがく能力が、ぐんぐんついていきます。日々学校で与えられる系統的な教科学習によって、子どもたちの学力はしだいについていくのですが、その場合、イメージ構成能力がとぼしければ、学力はあまり伸びていきません。文字を意味のあるように配列したものが文章ですが、その文章の中味を、具体的に場面や情景としてイメージして再構成できる能力、すなわち想像力が貧しければ、思考することができません。文章をリアルにイメージ化できるかどうかは、学力の獲得と定着度を左右します。読書好きの子どもは、いろいろな場면을イメージ化することができ、イメージ化できる楽しさを知ると、さらに読書を好きになっていくという相乗効果が働いていくのだと思います。



英語暗唱大会3年 綾乃さん

例えば 全国学力学習状況調査(中3が実施)基礎基本のA問題です。

国語A 漢字を書きなさい。  
①組織のキボを大きくする。 ②雨で運動会がエンキになる。 ③店をイトナむ。

漢字を読みなさい  
①覚悟を決める。 ②鮮やかな色合い ③水が垂れる。

数学A 次の問題を解きなさい。

①  $\frac{5}{9} \times \frac{2}{3} =$

②  $10 - 6 \div (-2) =$

③ 5mの重さが **a g** の針金があります。この針金の1mあたりの重さは何gですか。**a** を用いた式で表しなさい。

④ 等式  $X + 4y = 1$  を  $y$  について解きなさい。

## 家族と会話をしていますか？

皆さんは、家の人とどんな話をしますか？どれくらいの時間話しますか？ほとんど話をしないという人・・・結構いると思います。自分から言いたい、伝えたいという時、どうしていますか？一行詩「面と向かって言えない一言(著:吉村英夫)」という本があります。親や子に妻や夫に、そして、兄弟姉妹・先生などに言いたい言葉を編集した本です。

母よ！  
「隣のしのぶちゃんは、テストで100点取ったんだって！」と比較するくせに、私が「しのぶちゃんのお小遣いは5000円なんだって！」と言うと 「人とは比較をしない。」って怒るあんたは卑怯者だ。

父よ！  
勉強の息抜きに、テレビを10分間見ただけなのに・・・説教を15分も・・・いらない！

どうでしょう？嬉しかったこと、悲しかったこと、腹の立ったことなどを、お互いの気持ちがあつからないように、とても上手く表現しています。口に出して言えないのなら、短い言葉にして、そってテーブルにメモを置くのもいいかもしれません。口に出すとついケンカになるようなことでも、紙に書くと少しやわらかくなるかもしれません。何よりも、面と向かって言うわけではないので照れくさくはないですね。手紙ほど面倒くさくもないし、これだって立派な会話と言えるのではないのでしょうか・・・？



英語暗唱大会2年 優奈さん

## 有泉 乃里香選手(2年) 「全国中学校体育大会 第55回中学校スキー大会」への出場決定！

1月9日(火)～11日(木)に長野県の木島平スキー場で開催された、第68回山梨県中学校総合体育大会スキー競技の部に2年生の有泉乃里香さんが出場しました。乃里香さんは大回転競技の部に於いて**第3位**に入賞し、全国大会の切符を手にししました。

1本目	53" 21		
2本目	52" 52	合計タイム	1' 45" 73
			(トップとの差は2" 27)

第55回全国中学校スキー大会は2月6日～12日まで、秋田県鹿角市「花輪スキー場」で開催されます。日本のトップレベルの選手との戦いを経験して、更に切れる速くて力強い滑りを身につけて次のステップに挑戦して下さい。乃里香選手の健闘を祈ります。



**フレーフレー 乃里香！ ガンバレ ガンバレ の〜いか！**